

人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する
持続可能なまちをつくる

利便性の高い都市機能と
ネットワークの構築

- まちかどスポット(大雄寺スポット)の整備 1,500万円
- 公共交通の充実 2,260万円

問 新たな総合交通対策事業の内容は。



答 これまで運賃は定額(1回100円)であったが、高校生以下は無料になる。さらに65歳以上の市民は、



年間パスポートを6,000円の負担で購入でき、のらマイカー、まちなみバス、観光特化型バス(匠バス)、たかね号を利用できる。

- 伝統的大工技術継承に対する助成 250万円
- 環境政策顧問の設置 300万円



問 環境政策顧問の設置目的と活用方法は。

答 エネルギー・気候温暖化政策、持続可能な都市計画等に精通している環境コンサルタントの村上敦氏を顧問に予定している。その高度な知見を活用し人材の育成やアドバイスをいただく。

地域特性の
保全、活用、創出

安全への備えと
災害時の対応強化

- 道路沿線立木の伐採によるライフライン
保全対策事業 2,000万円
- 高齢運転者の安全装置設置に
対する助成 200万円

問 高齢運転者の安全装置設置に対する助成の内容及び対象年齢要件を75歳以上とした理由は。

答 国は障害物検知機能なしの場合は2万円、機能ありの場合は4万円を補助。安全装置設置費用から国の補助を差し引いた金額のうち、市が1万円を上限に助成する。国では65歳以上を対象としているが、県内の交通事故発生状況を鑑み対象を75歳以上とした。

